

それから天下り禁止。これもお金は特にかかりませんから、天下り根絶法案を通して即座に見えぬ形で実現する。これが第一段階です。そして第二段階で高コスト構造にメスを入れる。ここを具体的に分りやすく説明できた瞬間に、国民に「変えよう」というインセンティブが働き、政権交代に踏み出していただけたと思います。

自民党政治の弱点

——今の麻生政権、自民党政治をどう見えていますか。

細野 約十四兆円の補正予算ですが、国民には実はほとんど届かないんです。内訳を見ると、独立行政法人、公益法人などの天下り先に約三兆円もお金が投入され、天下っている約九百人の役人を温存する予算になっています。また、四十六基金に約四・三兆円が投入されますが、うち六基金の運営は官僚の天下り団体に丸投げされています。さらに、公共事業費に約一兆八

千億円。施設整備費、つまり箱モノに約三兆円です。

自民党は高度成長期には国民にお金を上手に分配したのかもしれないが、今はこれだけ経済が厳しいのに、その分配すらできなくて、国民に意味のある形でお金を届けることができなくなっている。天下りや箱モノ、様々ながらみにがんじがらめになってしまっているんです。

——鳩山新代表は「(各省庁の)局長クラス以上には辞表を提出させ、民主党の政策を遂行してくれるかどうかを確かめたい」と発言していますが本当にできますか。

馬淵 現行の公務員法上、実際に辞めさせることはできません。政治主導を確立させるために、具体的方策を考える必要があります。

長妻 ただ、議論の筋道としては当然のことではあるんです。自民党的発想で言うと、官僚を辞めさせるなんてとんでもない、と思われるかもしれませんが。しかし、今度は政権選択のマニ

堂や基金を廃止する減額補正予算の提出も考えなければなりません。

長妻 私が一度財務省に二〇〇八年度予算を基に試算させたら、国民が百万円税金を払うと、直ちに三十五万円が借金の返済に消える。つまり六十五万円しか今の時代に使われない。「代表なくして課税なし」は民主主義の鉄則なのに、自分たちが代表を選ぶ前の話で、三十五万円が即座に消える。「HAT-KZシステム」というのは税金を無駄遣いするシステムを指す私の造語です。Hはひも付き補助金、Aは天下り、Tは特別会計、Kは官製談合、Zは随意契約。これを温存してきたのが自民党政治です。民主党政権になれば、この借金漬け、先送りの無責任政治を止めます。

馬淵 肝心なのは焦らないことでしょう。憲政史上初めての変化ですから、マスコミからも、その時の野党からも、「混乱をきたしている」と批判の大合唱になる。それでも慌てずに、四年間の信任を得たのだから堂々と、

フェスト選挙です。ぜひご理解いただきたいのですが、マニフェスト選挙ではない。もし民主党のマニフェストが支持を受けて政権交代となったら、それはもはや一政党の政策ではなく、国民からの政府に対する命令書になる。国民と政府の契約書です。それをやりたくない官僚がいたら、やはり辞めていただかないと筋が通らない。逆に言えば財源、スケジュールを含めて詳細に規定したマニフェストのもとに戦って政権が代われれば、それを錦の御旗にして物事をどんどん進めていくことができる。

福山 具体的な話をすれば、いわゆる骨太の方針が六月にも出される。八月には各省庁の概算要求が出揃う。その前後に総選挙があるわけです。政権交代となれば、その概算要求は一度破算にせざるを得ない。十二月の税制改正も、来年度の予算に民主党のマニフェストが反映できるよう考え直すことになる。ただその前に、アニメの殿

四年後までを見据えてやっていく。例えば官僚政治打破のため、国会議員百人が入閣や各省庁に入ると民主党は主張してきましたが、それも紆余曲折があつて構わない。我々は政治家であつて役人とは違いますから、無謬性にとだわる必要はない。大いに試行錯誤していけばいいんです。

——肝心のマニフェストはいつ出す予定ですか。

福山 去年の九月にベースは出来ています。第一に、官僚の天下りと税金の無駄遣いをなくす。第二に、底の抜けた年金・医療・介護のセーフティネットを整備する。第三に、子育て支援を含め、家計収入二割アップをめざす。第四に、地球温暖化対策による新産業を創造し、雇用の不平等をなくしていく。第五に、農村漁業の生活不安をなくし、食と地域を再生する。

基本方針は変わりませんが、新たな争点として、企業団体献金の禁止や世襲制限が加わり、さらに、政権移行プランも示し、鳩山色を入れて近々発表

——それでも早く出して、国民に吟味してもらったほうがいいのではないですか。

長妻 私は、解散の日に発表でも構